

竹中木版 竹笹堂

## 竹笹堂 5代目・竹中健司が木版技法本を出版

伝統的な木版技術を継承する竹中木版 竹笹堂（創業 1891 年）の竹中健司が技法本を出版しました。技術を出し惜しみせず、職人自ら紹介する技法本の出版は極めて異例のことで、木版の制作工程を細かく写真で掲載し、初心者でも分かりやすい一冊となっています。また制作した木版画でつくるポチ袋や箸袋の仕立ての手順を紹介し、日本古来の千代紙あそびの文化を伝えています。そして出版を記念し、展示会&ワークショップを開催いたします。書籍は京都と淡路で開催される「第一回 国際木版画会議（2011年6月7日~12日）」に合わせて出版しました。世界中の木版職人やアーティストが来日し、日本の木版技術が注目されるなか、書籍を通して木版画の素晴らしさをより多くの方に広めていきます。



### 京都・竹笹堂のはじめての木版画

#### 可愛い雑貨をつくる本

竹中 健司 著  
(定価 2,100 円)

光村推古書院 発行・B5 サイズ総 95 頁  
平成 23 年 6 月 20 日発行・全国書店で発売中

出版記念企画「竹笹堂のはんがろう にっぽん！」

展示会&ワークショップ 各所で実施予定

<http://www.takezasa.co.jp/info/hangaro.html>

#### 竹笹堂とは

明治 24 年創業の老舗「竹中木版 竹笹堂」は浮世絵などの伝統的な作品を展開するほか、ブックカバーなどのオリジナル木版小物を制作販売している。また手塚治虫氏やチェコの芸術家として著名なヤン・シュヴァンクマイエル氏や、京都在住のデザイナー・カンバラクニエ氏など作家とのコラボレーション作品の制作にも意欲的に取り組んでいる。